

第55期



Kyoritsu BUSINESS REPORT

平成24年7月1日 ▶ 平成25年6月30日



ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「FA技術とIT技術の融合分野であるインテリジェントFAシステム市場を対象に開発型ビジネスを通して豊かな未来社会に貢献し、株主・顧客・社員及びその家族、そして関連する全ての会社や人々と将来の希望を共有し、心豊かで風通しのよい企業風土を形成する」という経営理念の基に、常に最先端の技術開発を心掛け、インテリジェントFAシステムの定着と普及へのたゆまない努力を続けるとともに、経済のグローバル化に対応すべく、海外ビジネスと国内外の拠点網の拡大に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましても、今後共、何卒倍旧のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 **西 雅寛**



Q 当期の連結業績については？

A 当期の国内経済は当初、円高やエコカー補助金の打ち切り等の影響を受け不況の色合いが強い状況でしたが、新政権による「脱デフレ政策」や日銀による金融緩和政策により円高修正の動きが出て、またデフレ脱却を期待した株式市場も上昇の速度を速めて主として消費を起点に景気回復の兆しが出てきました。一方、海外経済は中国やその他アジア諸国の成長率下落等、多くの不安定要素を抱える中で推移しました。

そのような経済環境の中、当社グループはこの10年余り構築してきた中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かし、国内製造業の海外への製造拠点移管により発生する新たな設備投資需要を確実に取り入れ、さらに半導

体基板検査装置や環境関連、省エネ関連の製品も好調に推移し、円高修正も追い風に働いたことにより損益面では好調に推移いたしました。一方、売上高に関しては当期が大型プロジェクトの谷間になったこともあり減収となりました。

これらの結果、当期の売上高は262億67百万円（前期比2.3%減）となり、損益面としましては営業利益が6億7百万円（同5.2%増）、経常利益が9億91百万円（同44.0%増）、当期純利益が6億円（同100.9%増）となりました。



Q セグメント別の業績については？

A インテリジェントFAシステム事業では、国内製造業の生産拠点の海外移転に伴う新規設備投資関連のシステム取引が伸びたこと、半導体基板検査装置

CONTENTS

トップインタビュー	1	トピックス	7
事業概況	4	財務諸表の概要（連結）	9
製品情報	5	会社の概況	10

や環境関連、省エネ関連の利益率の高い自社製品の売上が好調であったことから増収増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の売上高は103億74百万円（前期比0.4%増）、営業利益は2億95百万円（同30.9%増）となりました。

IT制御・科学測定事業の内、IT制御事業は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景気の影響を受けやすい傾向があります。一方、科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当期においては科学分析機器や工作機械関連の取引は伸張しましたが、輸送機関連の周辺企業群に対する制御部品関連の取引が製造の海外移転等の影響から縮小し減収減益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の売上高は158億22百万円（前期比3.9%減）、営業利益は6億8百万円（同6.3%減）となりました。

Q 当期の配当については？

A 株主の皆様への利益配分に関しましては、長期的な視野に立ち安定的且つ継続的な配当を重視するとともに、配当性向を重視し適正な利益配分の継続を基本としております。また内部留保金につきましても適正な

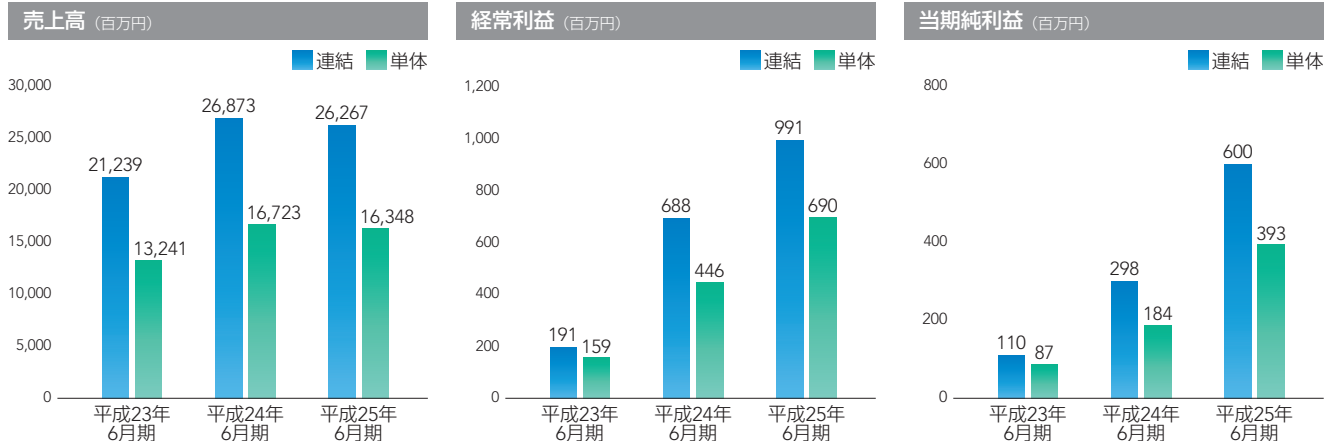
水準での充実を図り、新製品開発・新技術の研究の他、海外も含めた事業拡大のための戦略的投資に対して積極的に投入し、企業価値の増大によって株主の皆様への還元を図る所存でございます。

平成25年6月期の配当に関しましては、当期の好調な業績を反映させ、株主の皆様により多くの還元をするべく、当期末普通配当を2円50銭増配して1株当たり22円50銭とし、特別配当と合わせた1株当たりの配当を30円とさせていただきます。これは、2年連続の増配となります。

Q 今後の協立電機グループの事業戦略については？

A 「グループ全体の効率化を目指した一体的な運営を行う」という企業コンセプトに基づき、グループ各社の最適機能分担を第一に考え、グループトータル利益の最大化を目指しております。

また、具体的な施策としては人口減少が続く国内マーケットに比べ、新興国を中心とした海外マーケットは遥かに高い潜在成長力を有しており、当社グループの重要顧客である国内製造業はその生産現場を今後さらに加速して海外へ移転していくことは間違いないと考えています。この状況下、当社グループにとって海外での事業強化は将来の成長を左右するテーマであります。従来、当社海外ビジネスの中心だった半導体基板検査装置ビジネスのほかに紙パルププラントビジネスや輸送業種設備、エンジニアリングを中核としたシステム



ビジネス、さらに計測装置や試験機等のビジネスの海外展開を一段と推し進めるとともに海外グループ会社11社の質的充実と経営基盤の強化を図っていきます。

一方、設備投資需要の飛躍的成長が見込めない国内マーケットに関しては、選択と集中により、高い成長を見込める分野へ経営資源をシフトしていきます。また、顧客との対応を点から面へと広げていき、グループ複数社による多面的な取引関係を構築して顧客ニーズをより多く取り込むことによりグループ全体の競争力の底上げを図っていきます。

Q 次期の見通しについては？

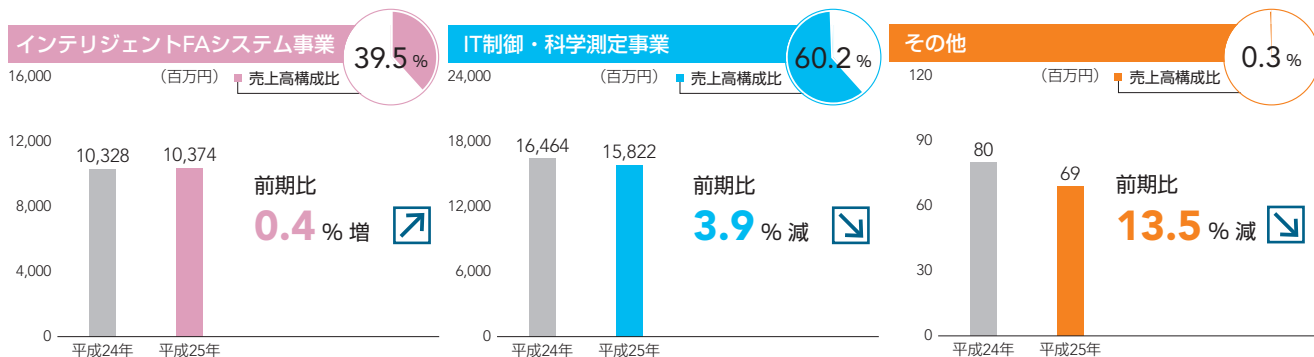
A 現在の国内経済は円高修正及び株式相場の回復により企業業績や消費等に明るい話題が増えているものの、製造業等の現場まではその影響が強く及んでおらず、設備投資等といった実体経済の十分な回復には未だ至っておりません。一方、海外経済では米国経済は比較的好調ですが、ECBの施策等により小康状態にあるとは言え債務問題が解決されていない欧州、景気が減速している中国、さらに好調であったASEAN諸国の経済も国毎に事情は異なるものの成長スピードの鈍化傾向が現れている等、世界経済全般に不況色が強くなっております。

そのような経済環境の中、先の事業戦略でも申した通り当社グループとして注力してきました海外展開が実を結びつつあり、海外グループ会社と国内グループ会社との業務協力により海外関係の取引を大きく伸ばすことが可能となってきております。次期においてもこの傾向はさらに拡大するものと思われれます。

また、新製品開発を始め他社との差別化を目指し、IT・エレクトロニクスの最新技術を用いて強力な新製品開発体制の確立にも注力しており、その一例として省電力社会、環境に優しい社会等の社会的ニーズに応えるために、スマートグリッド技術に我が社独自のインテリジェントFA技術を融合させ、空調に要する電力量や照明等の明るさを自然光の状況等に合わせた最適な使用状態に電力線通信を通じて制御する「グリッド・グリーン」を開発し、順調に販売を伸ばしております。加えて当社グループが開発に力を入れてきた半導体基板検査装置ビジネスでは従来型の画像検査装置から、さらに操作性を向上させたワンショット画像検査機「Focus 6000IA TASCAL」及びX線自動検査装置「V810」(ViTroX社製)等も発売開始後好評で、これら全ての基板検査方式を有する世界唯一のメーカーとして次期にはさらに販売を拡大できると考えております。

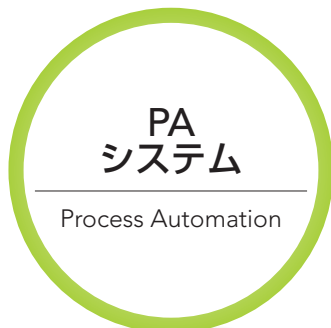
当社グループを取り巻く環境は、円高が是正されたにも拘らず国内製造業の生産拠点の海外移転の動きはますます加速し国内製造業の空洞化がさらに進む状況であります。このような環境下にあっても確実に業績を拡大させるため、経営全般にわたる合理化・効率化及び経費削減に取り組み、厳しい経営環境にも耐え得る強固で筋肉質な企業体質の構築に全力を傾注するとともに、より一層信頼される企業を目指していく所存であります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高272億円、営業利益8億円、経常利益10億円、当期純利益5億円を予想しております。



プロセス制御機器

プロセス産業の自動化・省力化を推進する計装システム。

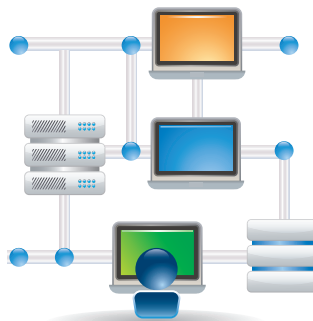
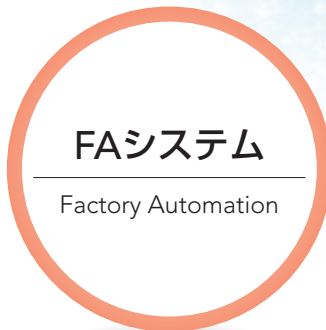


**電子計測機器
半導体基板テスター**

電子製品、輸送機、アミューズメントといった多方面の開発や生産ニーズに対し、自社は勿論多くの特徴ある会社とタイアップして最適ソリューションを提供。

ファクトリーオートメーション機器

生産工程の入口から出口まで最適生産管理システムを目指す、工場のトータル管理システム。



メッセージウォーカー

Webを中核としたIT技術、身近にボーダレス社会を実現するインターネット・グループウェアからネットワーク分散処理まで、PCデータベースによる基幹業務、開発環境の構築とサポート。



理化学分析機器

最新の電子計測システムからCAT、理化学分析、光通信市場まで研究開発の生産性向上システム。

**掘進管理システム
グリッド・グリーン**

最新技術を駆使したインテリジェントビル管理システムとシールド工法システム、環境システム。

GreenLink

グリーン・リンク

すぐできるスマート

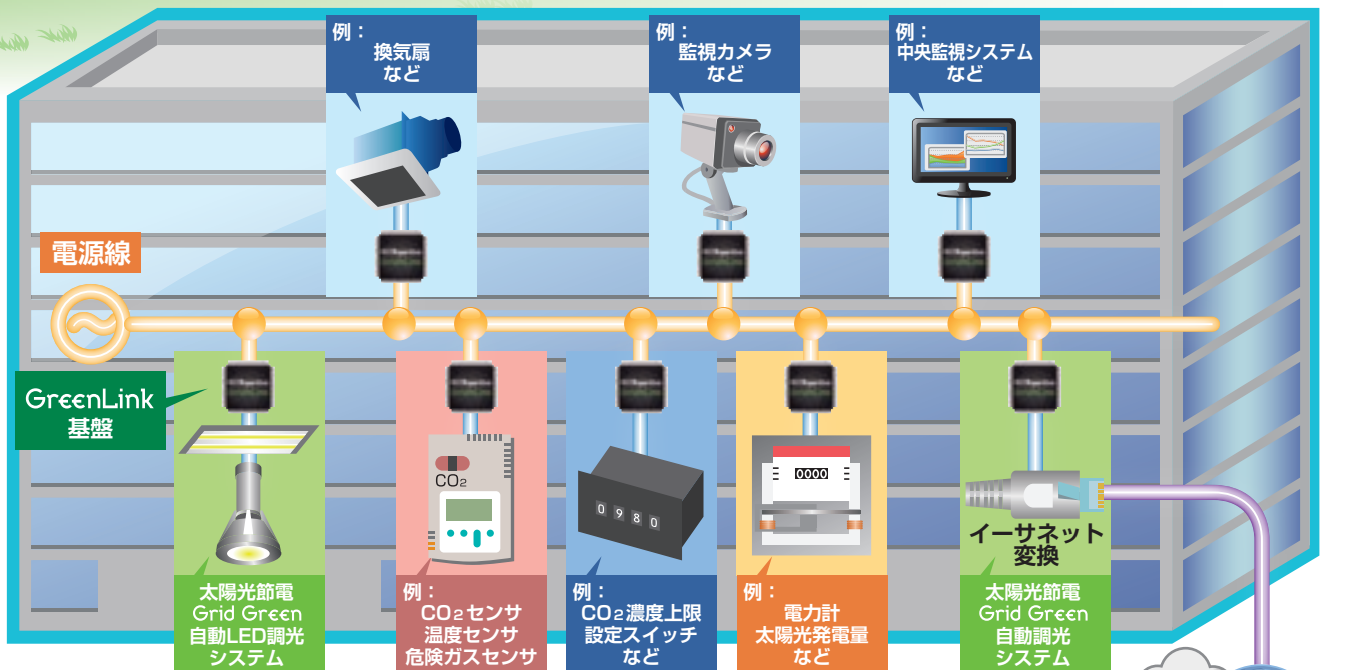
GreenLink

グリーン・リンク

とは

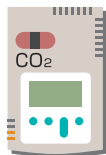
電力線を利用した多重伝送システムで、その技術を GreenLink Open Forum を介して公開しています。

ビルオートメーションのための通信メディア



たとえば

商用電源線を利用して信号伝送



CO₂ センサ

専用線の敷設なし

換気扇

クラウド

電源線

コミュニティを。

GreenLink の特性 >>>

低コスト

工事コストをゼロにします。
無線では達成不可能な低価格。

高い信頼性

切れづらい。
切れてもすぐつながる。

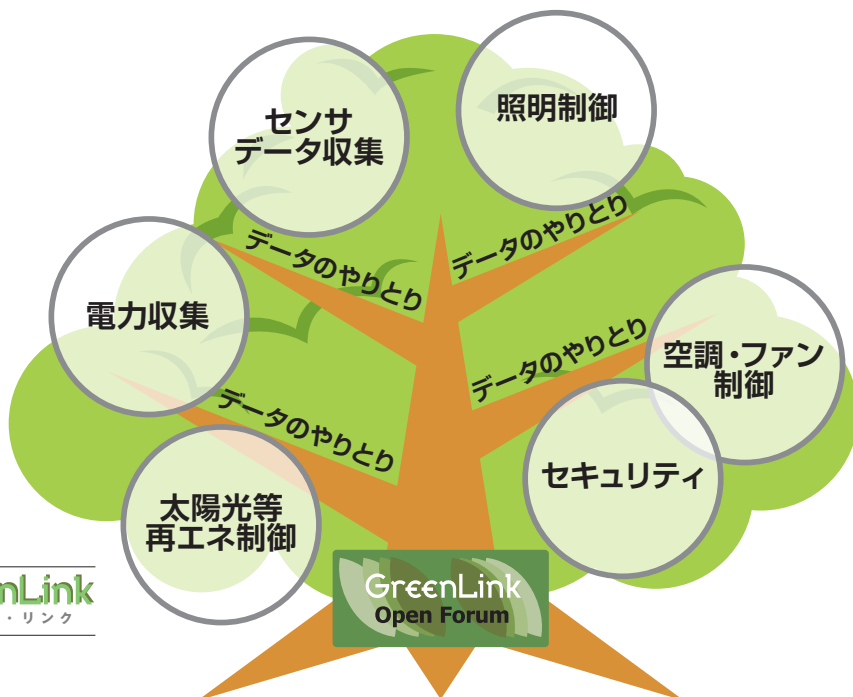
柔軟性

カスタマイズが容易。
新時代の多重伝送システム。

GreenLink Open Forum

GreenLink電力線通信システムに接続される機器の接続部の仕様を共有します。

参加各社は、GreenLink機器を開発製造でき、開発した機器群ならびに技術を相互利用できるグループです。



ビル・施設内
スマートグリッド通信

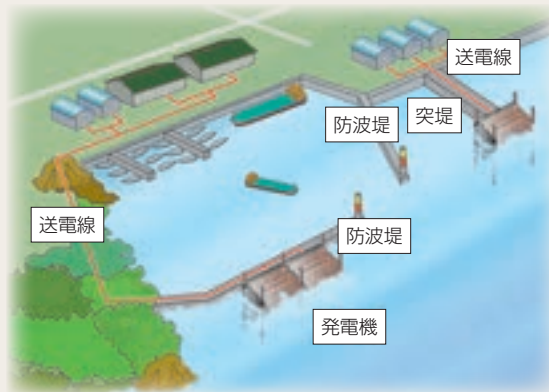
GreenLink
グリーン・リンク

「越波式波力発電」の研究施設を開設

2013年2月に日本初の「越波式波力発電」の実用化に向けた取り組み強化を図るために研究施設を静岡市にある協立電機静岡第3ビルに開設しました。かねてより協立電機では東海大学海洋学部との産学連携事業として波の力を利用して発電する波力発電の開発研究を進めてきました。波力発電は太陽光や風力などと並び温暖化ガスを増やさない再生可能エネルギーであるとともに、領海と排他的経済水域（EEZ）を合わせた広さが世界第6位の我が国にとっては普及が大いに期待されている発電形式です。

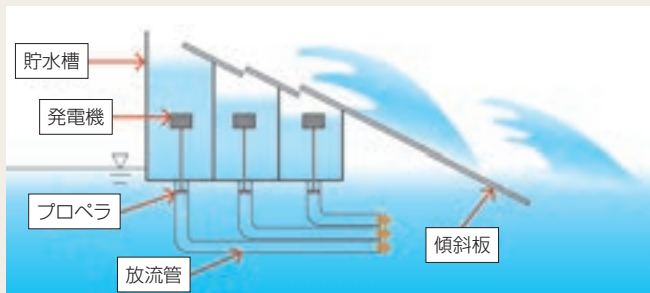
現在、開発研究を進めている波力発電は上下する波の水位差を利用して発電する越波式と呼ばれているもので、2012年には独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業に採択されました。越波式波力発電は大規模発電網が行き届かない離島などでの活用が期待されるとともに発電所建設による産業界への波及効果や漁港の冷蔵庫や製氷機などの電源利用にも期待できます。

今後は波が高く実証海域として適している静岡県内の御前崎港と相良港付近で実用化に向けた実証実験を行い、2016年までに実用化を目指します。



越波式波力発電のしくみ

発電装置に設置した傾斜板を波が乗り越え、その波が落下する時におきる水流を利用してプロペラを回し発電します。



協立電機では

水流で回転するタービンと発電機、機器の最適制御システムを開発しています。なかでも制御システムは波の高さが天候条件などで変化するため開発の心臓部と位置づけられます。すでにタービンと発電機の最新型試作モデルが開発済みで今後、東海大学の実験施設などで実用化実験を重ねます。

協立電機インドネシアを新設

2013年5月、インドネシア・ジャカルタ近郊にファクトリーオートメーション（FA）機器や半導体基板検査装置などの販売とサービスを担う協立電機インドネシア（PT.KYORITSU ELECTRIC INDONESIA）を新設しました。これにより協立グループの海外ネットワークは8か国、13拠点となりました。

インドネシアでは相続く経済発展により生産規模を拡大しようとする自動車部品メーカーなどの日系企業の進出が相次ぎ、自動車大手の増産計画も拍車をかけるかたちで急速な市場拡大が続いています。

これまでインドネシアでは主に協立電機マレーシアを通じて日系の自動車や電気機器関連のメーカーを中心にFA機器や半導体基板検査装置などを販売していました。

協立電機インドネシアを新設することにより現地での営業、販売業務を強化するだけでなく製品の保守、メンテナンス業務においても迅速できめ細やかな対応をすることが可能となります。これにより取引先への顧客サービスを向上させ、既存顧客との取引拡大、及び欧米メーカーの現地工場や現地企業といった新規顧客の開拓を目指すとともに、将来的には製造拠点の開設も視野に入れています。



当社の **C S R** 活動

▶▶ 第21回協立秋祭り開催 ◀◀

2012年10月に第21回協立秋祭りを協立電機技術開発センターにて開催しました。協立秋祭りは日頃お世話になっている地域の皆様やお取引先の方々への感謝の気持ちを表す場として始め、回を重ねるごとにご来場のお客さんも増え、静岡市駿河区の秋の風物詩の1つとして定着してまいりました。

当日は爽やかな秋晴れの中、東日本大震災での炊き出しにも活躍した炊飯トラックの実演、セグウェイやロボットサッカーの体験コーナー、すだちのつかみどり等のバラエティに富んだ催し物をお取引先の方々にもご協力頂いて開催しました。また、「琉球伝統歌舞集団 琉神」の皆様による伝統芸能披露が太鼓の音とともに始まると、それぞれにお楽しみのお客さんも足を留めて琉球獅子舞を見物していました。

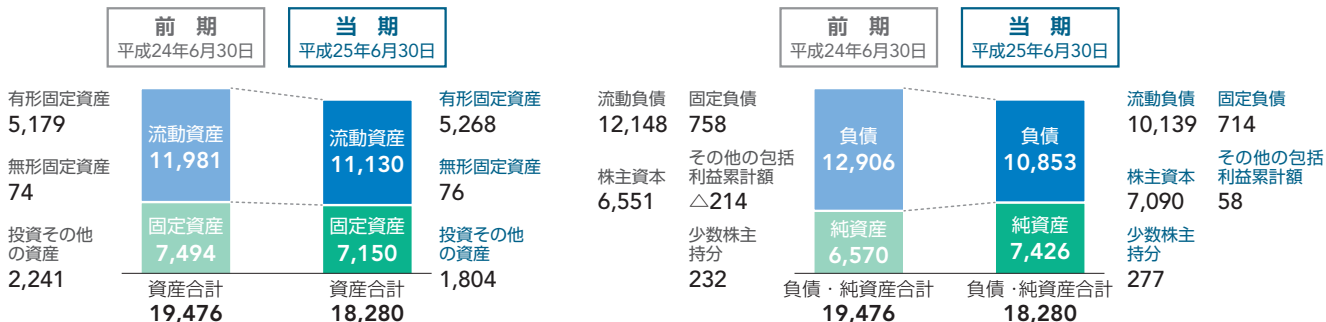
そのほかにもチャリティーバザーや模擬店にも長蛇の列ができ、参加して下さったお客様はバザーの品を手にとったり、焼きそばやポップコーンに舌鼓を打って思い思いに楽しんでおられました。

模擬店やチャリティーバザーの収益金はすべて株式会社静岡新聞社様の主催する愛の都市訪問を通じて児童福祉施設及び特別養護施設等に寄付させて頂きました。



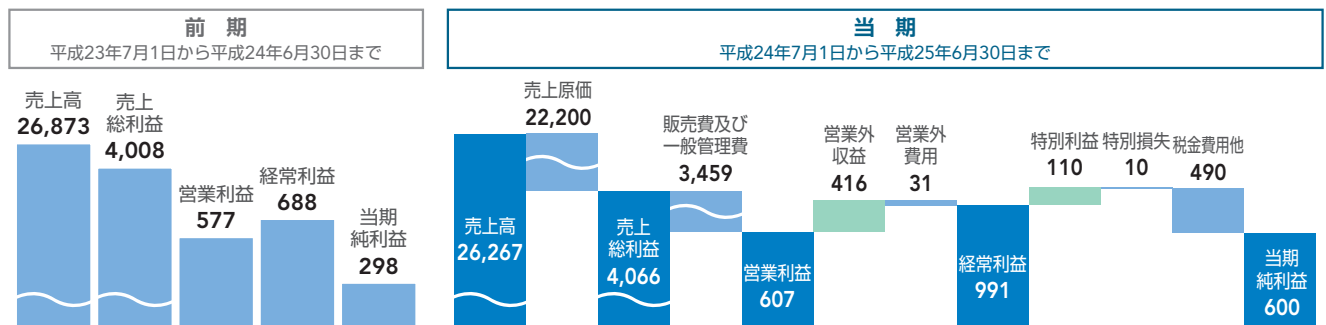
財務状況

(百万円)



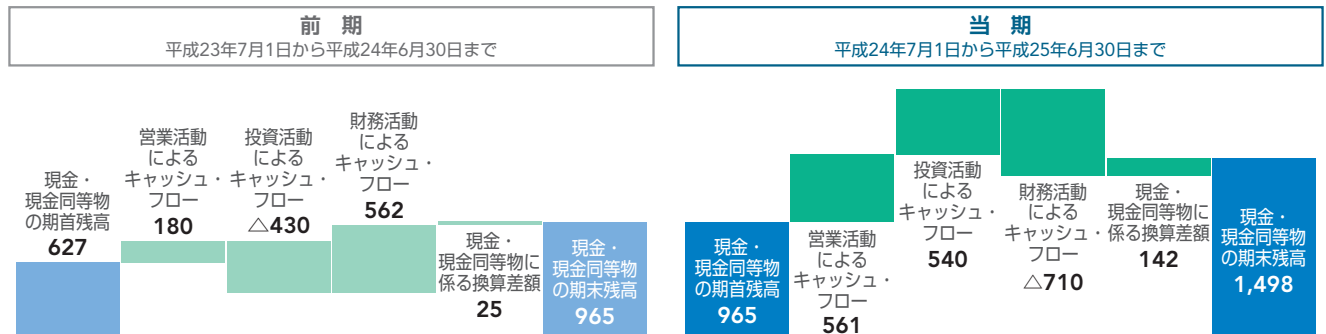
経営成績

(百万円)



キャッシュ・フローの状況

(百万円)



▶ 会社概要

商号	協立電機株式会社
(英文名)	KYORITSU ELECTRIC CORPORATION
資本金	14億4,144万円
本店所在地	〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町6番33号
従業員	358名(単体) 620名(連結)

▶ 取締役・監査役及び執行役員 (平成25年9月25日現在)

会社における地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	西 雅 寛	協立テストシステム株式会社 代表取締役社長
専務取締役	田 内 繁 造	第二営業本部長 協和電工株式会社取締役会長
専務取締役	西 信 之	第四営業本部長 協立テストシステム株式会社 代表取締役副社長
常務取締役	山 口 信 幸	管理本部長
取締役	望 月 国 雄	第一エンジニアリング本部長
取締役	松 下 章	CE本部長
取締役	河 合 健 一	
常勤監査役	稲 田 光 能	
監査役	伊 藤 喜 代 次	たちばな法律事務所
監査役	安 養 寺 明 彦	
常務執行役員	瀬 本 保 範	第三営業本部Aユニット長
常務執行役員	大 石 勝 久	第三営業本部Bユニット長
常務執行役員	藤 嶋 善 彦	第四営業本部関東ブロック担当
執行役員	水 島 克 美	第一営業本部長
執行役員	川 口 恵 之	EMC推進センター長
執行役員	中 木 照 雄	経営企画室長
執行役員	江 口 和 之	海外管理部長
執行役員	井 出 道 宏	第一営業本部副本部長

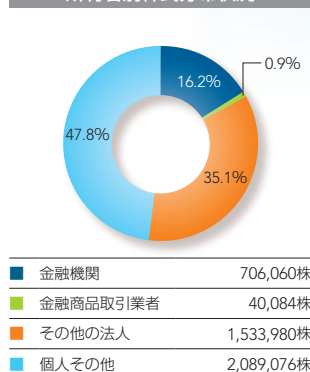
(注)1 取締役のうち河合健一氏は、社外取締役であります。

(注)2 監査役のうち伊藤喜代次氏及び安養寺明彦氏は、社外監査役であります。

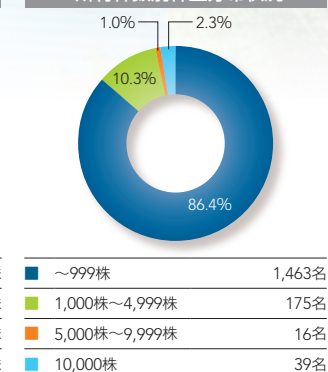
▶ 株式の状況

(1) 発行可能株式総数	10,000,000株
(2) 発行済株式総数	4,369,200株
(3) 株主数	1,693名

所有者別株式分布状況



所有株数別株主分布状況



▶ 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (ジャスダック市場)
公告方法	電子公告により、下記ホームページに掲載いたします。 http://www.kdwan.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

協立電機のグローバルネットワーク（主要な事業所及び関係会社）

▶ 主要拠点

本部 〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町61-1
TEL<054>288-8888 FAX<054>285-1105

技術開発センター 〒422-8686 静岡県静岡市駿河区中田本町63-25
TEL<054>288-8877 FAX<054>283-1946

東京支社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-9 平河町KDビル
TEL<03>3230-3777 FAX<03>3230-3770

富士支店 〒416-0931 静岡県富士市蓼原88-3
TEL<0545>64-1511 FAX<0545>64-1992

浜松支店 〒435-0007 静岡県浜松市東区流通元町13-7
TEL<053>421-3500 FAX<053>421-3320

関西支店 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-4-27
TEL<06>4861-1501 FAX<06>4861-1502

・ 仙台営業所・宇都宮営業所・つくば営業所・神奈川中央営業所
・ 御殿場営業所・沼津営業所・静岡営業所・島田営業所
・ 袋井事業所・豊橋営業所・三河営業所・名古屋営業所
・ 高岡事業所・岡山営業所・熊本営業所・福岡営業所

・ 本社工場・静岡サービスセンター・富士サービスセンター
・ 富士サポートセンター・相模原事業所

